

令和3年度

事業計画書

学校法人 亜細亜学園

令和3年度事業計画について

学校法人亜細亜学園は、令和3年度事業計画を以下のとおり策定する。

1. 基本方針

本学園は、建学の使命及び建学の精神に基づき平成28年に「亜細亜大学中長期計画—アジア未来マップ2025」を策定し、「多様な夢に挑み、アジアの未来に飛躍する創造的人材の育成」というミッションを実現するため、3カ年中期行動計画を作成し、その実現に取り組んできた。令和3年度は第2期3カ年中期行動計画の最終年度となる。

令和3年度は、「学修者本位の教育」の実現のため、学生自身が目標を明確にして主体的・協働的に学修へ取り組むことが出来る授業への改革を行う。さらにICT教育環境整備3カ年計画に基づき、ICTの活用による質の高い充実した教育を提供する。

また、新型コロナウイルス感染症拡大により、キャンパスに来る機会がほとんどなかった学生への学生生活の相談や履修の相談などきめ細かい支援をする。特に、現1年生や感染症拡大が続く中で入学する新入生に対して、支援体制を強化する。

なお、令和3年度は、寄附行為の改正に伴い第3期5カ年中期行動計画を策定する年となる。

2. 令和3年度重点項目 —重点行動施策への具体的な取り組み—

(1) 教育・研究活動施策

① コロナ禍における1年生への学修支援

全学部学科1年生の「オリエンテーションゼミ」をクラス担任制度としても機能させ、学習支援を行う。

② 令和5年度全学部生のゼミ履修の必修化

令和5年度から全学部学科においてゼミの必修化に伴い、共通教育科目のゼミの設置を準備する。

③ グローバル教育の充実

ICTを活用した本学独自のオンライン留学プログラムを拡充し、国際交流を充実する。

④ ICT環境の整備による数理・データサイエンス・AI教育の充実

ICTの設備や教育環境を整備し、希望するすべての学生が初級レベルの数理・データサイエンス・AI教育を修得する。

(2) 学修支援施策

① 学修支援体制の強化による退学者数減少の実現

学生委員会のもと、中途退学や休学の原因を詳細に分析し、支援を強化して退学率を全国平均の2%以下にする。

② 奨学金制度の再構築

奨学金の規程と運用の見直しを行い、学生にとって効果的な支援となる奨学金

制度を再構築する。

(3) 大学運営施策

①ガバナンス改革への継続的な取り組み

寄附行為の改正に伴って学則を変更したことにより、関連諸規程の見直しを行う。

②教育研究活動における内部質保証体制の再構築

内部質保証体制を確立し、全学的な自己点検活動と評価活動を実施する。

③危機管理体制の構築

新型コロナウイルス感染症対策本部において、引き続き学生の修学支援を迅速に行う。さらに、危機全般に対処する規程を整備し、危機管理体制を構築する。

④事務職員の次世代育成研修制度の構築

大学ガバナンス改革に必要な法務知識や財務知識を兼ね備える次世代人材を育成するための事務職員研修を実施する。

⑤広報活動の強化

本学の広報アジア、ホームページを見直し、受験生、保護者などのニーズに合わせた情報発信を強化する。

(4) 学生募集活動の強化

大学を取り巻く環境が激変する中においても、選ばれる大学として存在し続けるため、さらに学生募集活動を強化する。

3. 人事

令和3年度の専任職員数は以下のとおりである。

教育職員（特任及び1号客員含む）								事務職員	総合計
経営学部	経済学部	法学部	国際関係学部	都市創造学部	アジア研究所	英語教育センター	合計		
44名	25名	32名	36名	14名	4名	28名	183名	135名	318名

(令和3年4月1日時点)

4. 財務

令和3年度予算については、業務改革による改善を一層推進することにより、教育活動収入は8,347百万円、教育活動支出は8,123百万円となり、教育活動収支差額を224百万円の収入超過とする予算を編成する。

5. 施設・設備

令和3年度の施設・設備関係予算は、合計1,623百万円である。

日の出キャンパス再開発計画、ICT教育環境整備3カ年計画、3号館講堂・外壁補修工事などを実施することにより、教育環境の整備充実とスポーツ振興を更に推進する。

(1) 日の出キャンパス再開発計画

セミナーハウス、トレーニングセンター、及び体育教員室棟を解体し、跡地にトレーニングセンター・クラブハウス、雨天体操場、及びブルペンを建築する。トレーニングセンター及び雨天体操場は、地域のスポーツ振興に貢献するため学外へ開放する。

事業費：1,052,500千円（令和3年度）

（内、経費支出：279,908千円）

（内、設備投資：772,592千円）

総事業費：4,077,544千円（令和2年度～令和4年度）

工事期間：令和2年6月～令和5年1月

(2) ICT教育環境整備3カ年計画

ICTを活用した多様な授業形態による教育を提供するため、情報環境を整備する。

事業費：134,586千円（令和3年度）

（内、経費支出：80,858千円）

（内、設備投資：53,728千円）

総事業費：718,706千円（令和2年度～令和5年度）

工事期間：令和3年1月～令和6年3月

(3) 3号館改修工事

老朽化している3号館について、学内行事に広く活用されるよう講堂をリニューアルするとともに、外壁補修及び設備更新工事を実施する。

① 3号館講堂改修工事

事業費：432,000千円（令和3年度：設備投資）

総事業費：782,137千円（令和2年度～令和3年度）

工事期間：令和2年9月～令和3年9月

② 3号館外壁補修・設備更新工事

事業費：155,900千円（令和3年度）

（内、経費支出：126,475千円）

（内、設備投資：29,425千円）

工事期間：令和3年7月～令和4年2月

(4) キャンパス環境の整備

より快適なキャンパス環境とするため、7号館の1階に多機能トイレを設け各階女性用トイレにパウダーコーナーを4箇所新設するとともに、3号館及び7号館の男女トイレをウォシュレット付洋便器へ全面リニューアルする。

① 7号館全館トイレ改修工事

事業費：199,007千円（令和3年度：設備投資）

工事期間：令和3年7月～令和3年10月

② 3号館2～4階トイレ改修工事

事業費：77,800千円（令和3年度：設備投資）

工事期間：令和4年2月～令和4年3月

(5) その他

学術研究及び教育活動、学修支援に必要な図書等の充実を図る。

事業費：58,000千円（令和3年度：設備投資）

以上